

安全対策連絡協議会

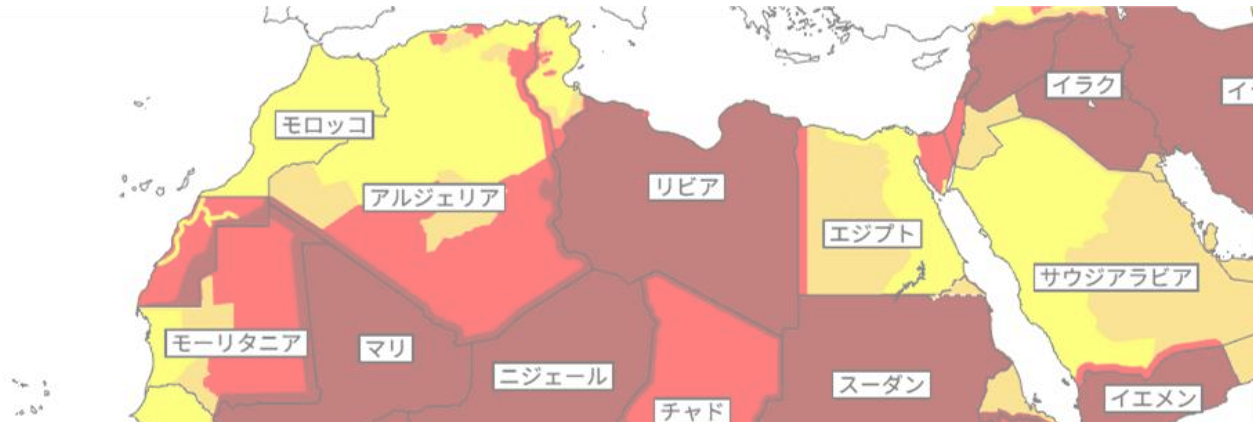
目 的

危機管理意識・対応能力の向上

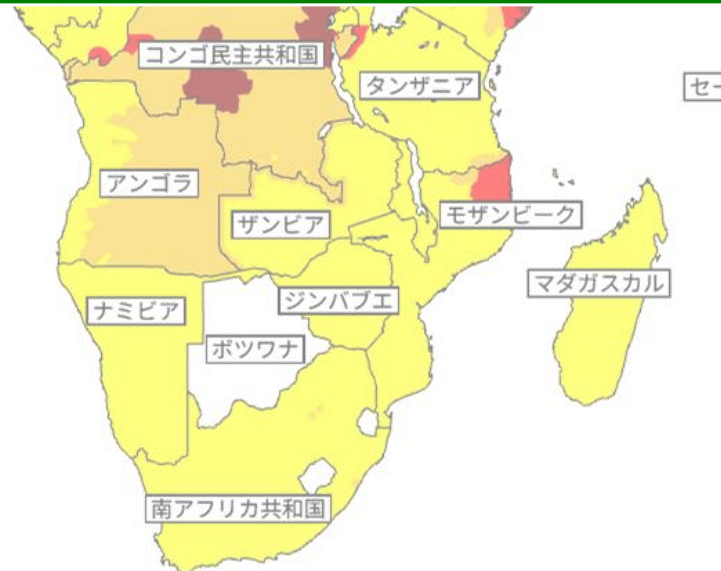
2026. 7. 23
在ザンビア日本国大使館
領事・警備班

項 目

- 1 ザンビアの治安概観
- 2 ザンビアにおける邦人等犯罪被害事例と対策
- 3 総選挙を踏まえた安全対策
- 4 緊急事態時における対策・処置
- 5 質疑応答・ご意見



1 ザンビアの治安概観



危険レベル凡例

- レベル1 十分注意してください。
- レベル2 不要不急の渡航は止めてください。
- レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)
- レベル4 退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)

100万人当たりの主要な犯罪※件数

4
R 8 . 7 . 2 3
領 事 ・ 警 備 班

ザンビア

995

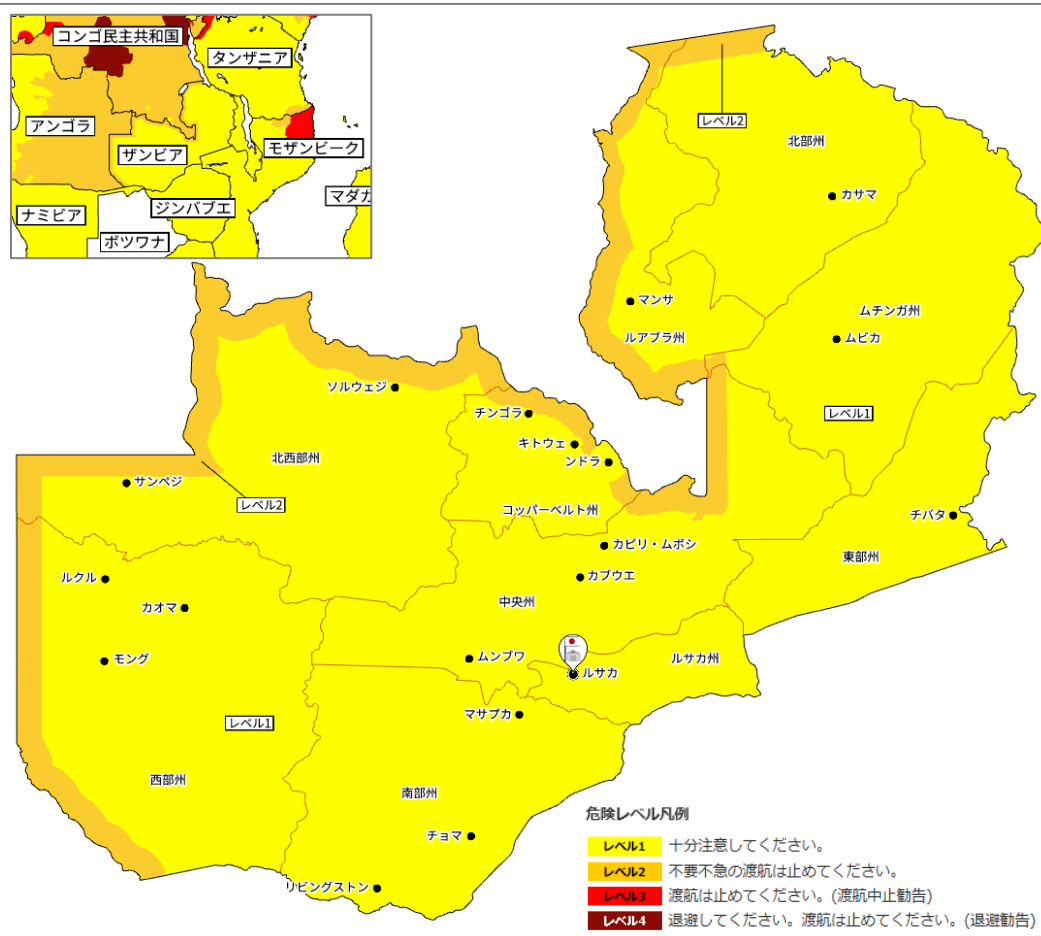
日本

250

※殺人、強制性交、強盗、放火、傷害

ザンビアの危険情報等

R 8 . 7 . 2 3
領 事 ・ 警 備 班



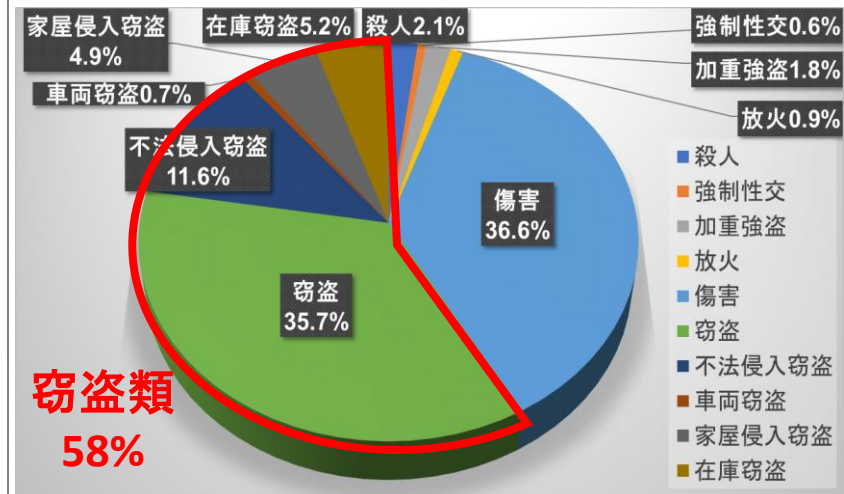
【危険レベル】

レベル2 不要不急の渡航は止めてください。

- コンゴ民との国境地帯
(ンドラ市を除く)
- アンゴラとの国境地帯

レベル1 十分に注意してください。

その他の地域



- コンゴ民及びアンゴラとの国境地帯がレベル2
- 一般犯罪の発生率は日本に比べると高く注意が必要
- 認知されている犯罪の大半が窃盗類

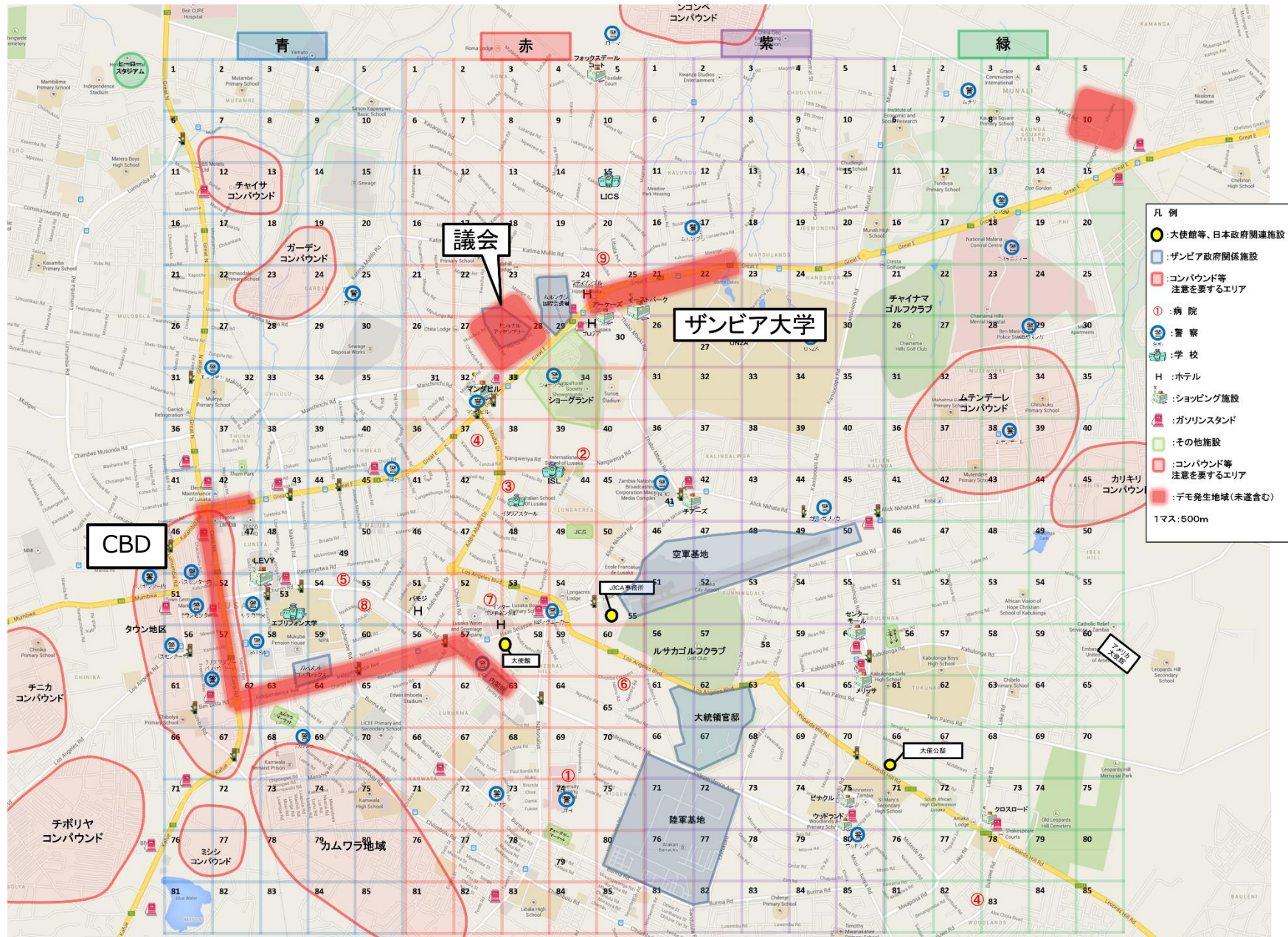
- コンパウンド(低所得層居住地域)、タウン地域等は体感治安が著しく悪い。
- 徒歩で移動している人に背後から複数名が乗車した車両が近づき、所持品を強奪する「Junkies※¹」による手口が増加。そのため、徒歩移動には注意が必要。
- CBD※²(市内中心部)やローカルな場所に行くときはもとより通常のモールなどでも十分な注意が必要。
- 高所得者居住区における犯罪発生件数が増加傾向。2025年11月から12月にかけては、中国人が殺害される強盗事件がルサカ市内で複数発生。
- 政治経済中枢のため、デモが発生し治安、交通等に影響を与えやすい。

※ 1 職を求めて地方から出てきた者達が生活がうまくいかず違法薬物等に手を染めている集団の呼称。特に凶悪な犯罪を働いている。

※ 2 Central Business District

ルサカ州

R 8 . 7 . 2 3
領 事 ・ 警 備 班



ザンビア滞在安全の手引き等

凡 例

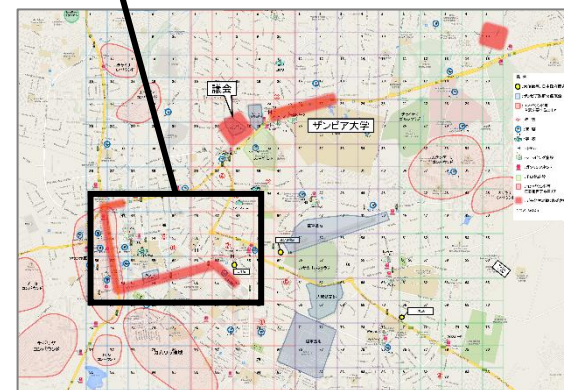
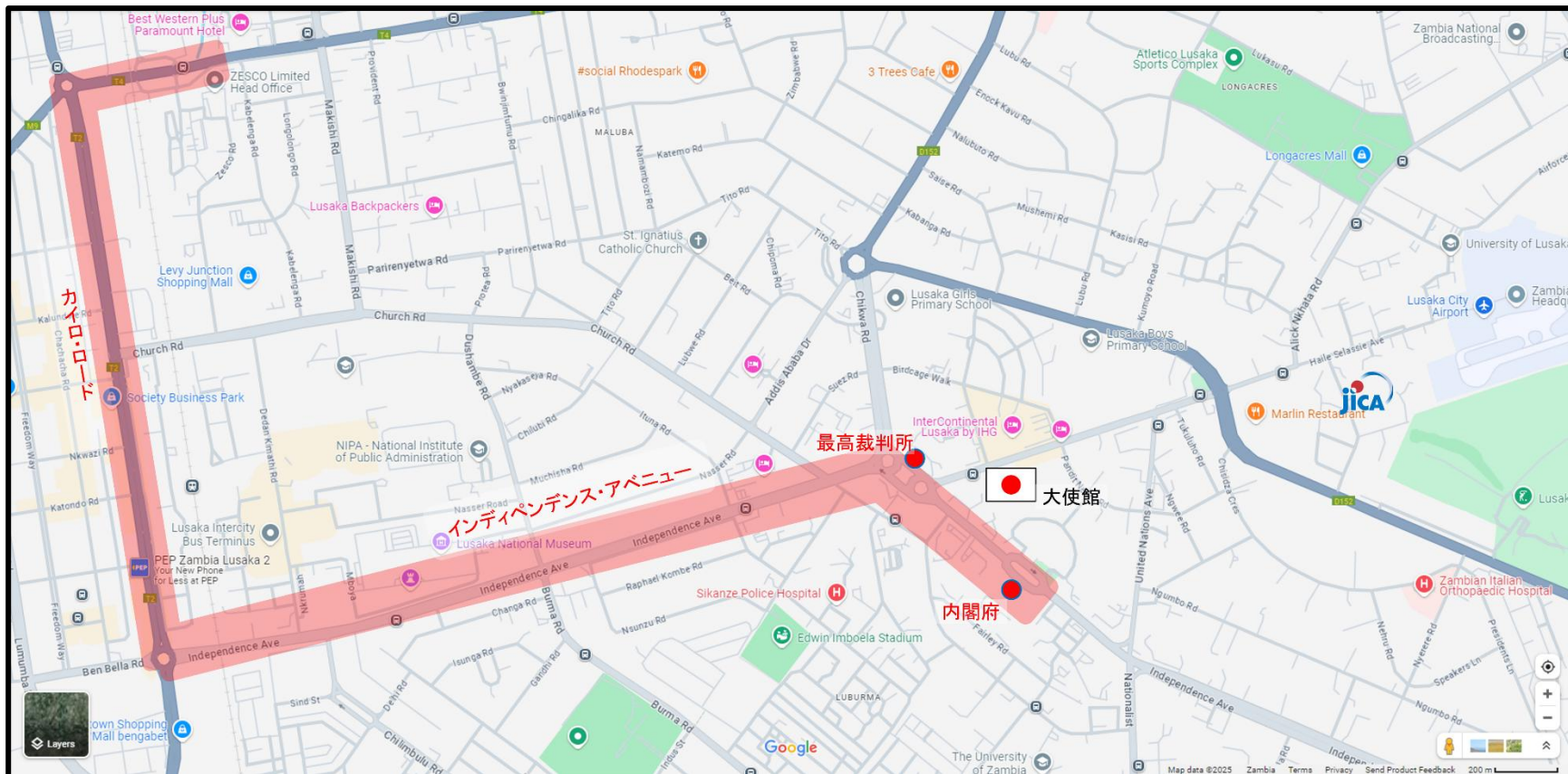
■ : デモ行進経路

● : デモ抗議会場

ルサカ州

R 8 . 7 . 2 3

領 事 ・ 警 備 班



ザンビア滞在安全の手引き等



ザンビア大学学生による無許可デモの様相

- 犯罪件数は第1位(21, 952件)(参考:ルサカ州19, 084件)
- 殺人件数第1位(157件)(参考:ルサカ州103件)
- 人身取引、違法銃器、偽警官等による犯罪が発生。
- 中国系企業も進出しているため、中国人を対象とした犯罪巻き込まれに注意が必要。(近年、中国人射殺事件が複数確認されている。)
- 2025年4月、採石規制に抗議する群衆が暴徒化し、破壊・略奪行為が発生。
- 同11月、演説中のヒチレマ大統領に対し、聴衆の一部が投石し、演説が中止される事態と発展。

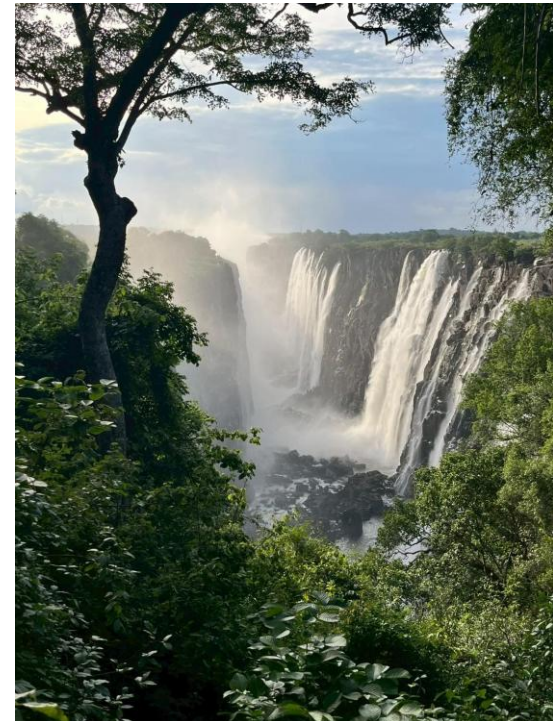


採石規制に抗議する群衆が暴徒化(25年4月)

○ リビングストーン等の有名な観光地を有するため、組織的なスリ、違法な両替商、違法タクシー等が蔓延。(ターゲットとなり得る観光客等の情報を共有し、接触を図る手法が流行。)

○ 性犯罪が増加傾向。

○ 強盗発生率第2位(主要犯罪の2.4%)



その他の州

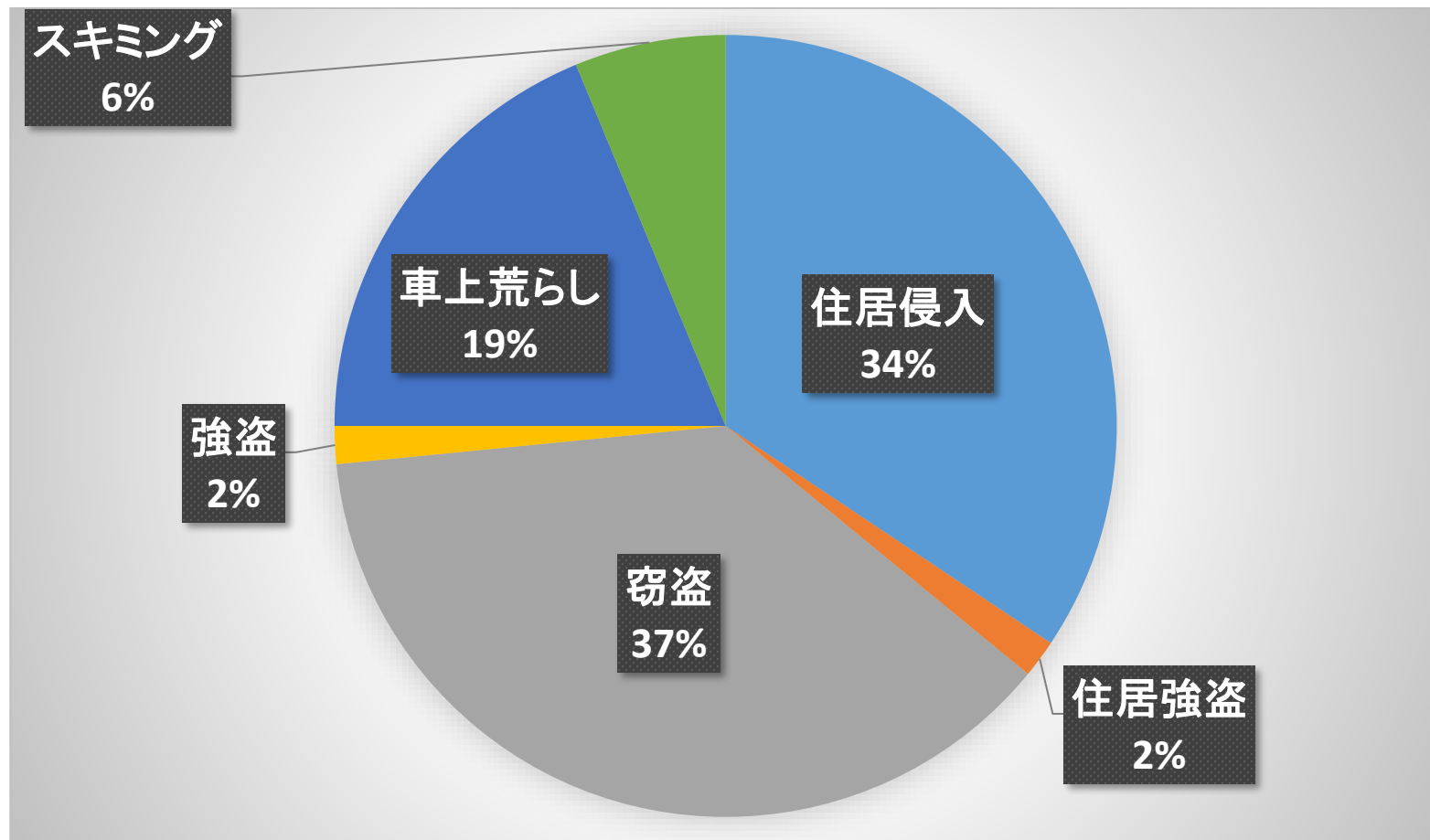
- 東部州：窃盗類比率第1位(73%)、強盗比率第1位(2.6%)
- 中央州：殺人比率第1位(6%)、殺人発生件数第2位(124件)
- 北西州：傷害比率第1位(50%)
- 放火件数の上位3州が北西州、東部州及び西部州

2 ザンビアにおける邦人等犯罪被害事例と対策

邦人被害統計

邦人被害件数一覧表 (2018年～2026年7月)

	住居侵入	住居強盗	窃盗	強盗	車上荒らし	スキミング	計
件 数	22	1	24	1	12	4	64



邦人被害統計

邦人被害件数一覧表 (2018年～2026年7月)

	住居侵入	住居強盗	窃盗	強盗	車上荒らし	スミング	計
件 数	22	1	24	1	12	4	64



邦人が多く利用する中華マーケット内の駐車場にて白昼に発生した車上あらし

事 象

○14時頃、邦人はWanja Supermarket(ルサカ市内)内において駐車し、同敷地内飲食店で昼食をとっていた。同駐車場には警備員が配置されていた。

○14時30分頃、昼食最中の邦人は、駐車場で車の防犯アラートの音が聞こえたものの、直接自身の車両を視認できる位置ではなく、自身の車両を確認しに行かなかった。

○15時頃、昼食を終えた邦人が車に戻ったところ、車内助手席に置いていた鞆が無くなっていた。また、助手席の鍵が壊されていた。



対策

- ・ 車内に貴重品、荷物等を放置しない。
- ・ 荷物を車内に残置しなければならない場合、必ず車外から視認できない位置に置く。

防犯カメラの撮影範囲に駐車

警備員の過信厳禁

視認できる位置への駐車

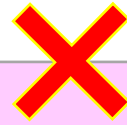
実際にあった邦人被害

在留邦人が利用するショッピングモール内での白昼堂々の犯行
ショッピングカートに戻す一瞬の隙を狙った手口

事 象

13時頃、**マンダヒルモール**(ルサカ市内)駐車場において、買い物を終えた邦人が、自身の車両に買い物袋等を積載し、**ショッピングカート**に戻しに行った隙に、付近に駐車していた**車両**から**数名の賊**が下車し、当該邦人の車両から現金、キャッシュカード、免許証等が入った**カバン**を窃取して立ち去る事件が発生

対策



- ・わずかな時間でも施錠
- ・鍵を開けた状態で離れ無ければならない場合は同行者に見張っていて貰う

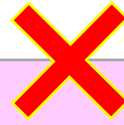
実際にあった邦人被害

徒歩移動中でのひったくり被害

事 象

- 午前6時20分頃、Salama Park Road(ルサカ市内Ibex Hill)において、徒歩通勤していた邦人が、背後から近づいてきた車両の助手席に乗車していた賊から現金(500クワチャ)、ザンビア滞在許可証、クレジットカード等が入った財布及び仕事用PC等が入った鞆をひったくられる事件が発生
- 被害者は、毎日大体同じ時刻、経路で通勤していた。

対策



- ・ 徒歩移動はしない。
- ・ 鞆等を不用意に携行しない。貴重品の管理を徹底する。（鞆等を携行しなければならない場合、車道から反対側に保持する。）
- ・ 行動パターンを固定化しない。（時間帯、使用経路等）

防犯カメラの撮影範囲に駐車



政府公認のタクシー

実際にあったアジア人被害

中国人強盗殺害

事 象

○月末の正午頃、ルサカ市Woodlands地区Milima Roadの住居前において、銀行から帰宅途中の中国人男性が複数犯に銃撃され、金品を強奪された上で殺害される事件が発生。

○被害に遭った中国人男性は、帰宅した際、門が開くのを待っている間に、尾行していたと思われるオートバイに乗車した容疑者らから銃撃された。

対策

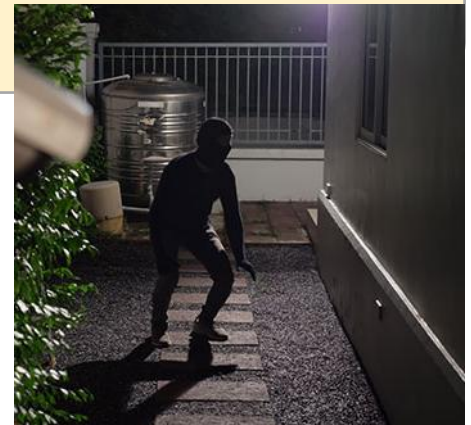
- ・徒歩移動はしない。月末は多くの住民が銀行にて現金を引き出すため、更なる警戒が必要。車両での移動中（特に銀行やATMの利用後）は、常に周囲を警戒し、不審な車両や人物がいないか後方確認を含め注意してください。
- ・万一、強盗などの被害に遭った際は、犯人を刺激せず、決して抵抗せず、身の安全を最優先してください。
- ・金銭事情等を周囲に口外しない。
- ・鞆等を不用意に携行しない。貴重品の管理を徹底する。（鞆等を携行しなければならない場合、車道から反対側に保持する。）
- ・行動パターンを固定化しない。（時間帯、使用経路等）

実際にあった邦人被害

事 象

住居侵入・窃盗被害

- 東部州ニンバにおいて、降雨夜間、何者かが外壁上部のレーザーブレードワイヤーを押し曲げ、邦人住居の敷地内に侵入。玄関のグリルドアの南京錠を破壊するとともに、木製ドアをバールこじ開け室内に侵入。
- 何者かはキッチン及びリビング内の物品を窃取。
- 同宅は、十分な防犯設備にも拘わらず侵入された。
- 被害邦人は幸い寝室にいたため、泥棒と遭遇することなく身体的被害はなかった。



対策・対応

- 扉にはグリッド・トリッドを、窓にはバーグラバーを設置し、輕易に侵入できない様処置。
 - 施錠の確行（在・不在にかかわらず）
 - 貴重品は目の届くところに常時おく。
 - 防犯灯及びカメラの設置
 - 周辺環境の整備（泥棒に格好の隠れ場所を与えない）
 - 隣人等、周辺の住民との関係構築
- ※不要な情報は提供しない
- 犯行現場に居合わせた場合抵抗は絶対にしない。（生命の保全）

実際にあった邦人被害

手口

クレジットカード被害(スキミング疑い)

- レストラン等でカードを店員に預け情報を抜かれる。
- カードを盗まれ(奪われ)て情報を抜かれる。
- 暗証番号の入力操作を盗み見られる。
- スキマーが装着されたATMで操作する。または、ポケットの上から読み取られる。

対策

- クレジットカードを放置しない、貸さない、預けない、手放さない
- ICチップや不正利用検知システムの付いたカードを選ぶ
- 暗証番号は推測されづらいものに設定し、定期的に変更するとともに、暗証番号入力時、第3者(カメラ含む)から見えないよう手で隠して入力する。
- ATM利用時、カード挿入口をよく確認して不審な装置がないかチェックする
- スキミング防止素材のカードケースやアルミホイルでカードを包むことで被害を局限
- こまめにカード利用履歴、残高等を確認し被害に遭っていないか確認する
- クレジット決済は極力タッチ式を選ぶ
- カード会社の保険等についても確認し、被害を受けた場合の損失の局限に努める

3 総選挙を踏まえた安全対策

○ 8月13日(木)(選挙活動は5月25日から開始)

総選挙(**大統領選挙**、国民議会選挙、地方選挙)

○ 会場:公立学校等

○ 大統領選挙

- ・50%以上の得票率を有する候補者が大統領に就任。
- ・候補者のいずれも50%の得票率に達しない場合、3ヶ月以内に決選投票が行われる。

過去の選挙における治安事象

年	主要事象
2015	与野党支持者らの衝突による死者の発生、ルサカ州及び南部州における緊張激化
2016	ルサカ州における抗議活動で死者発生、報道規制
2021	放火、殺人、政党事務所に対する襲撃、略奪行為、複数地点での 暴動 の発生、 大量の逮捕者 の発生 ⇒ 選挙活動の一時停止、軍の動員



大統領選挙に伴う警備強化(21年8月)

○ 全 般

マザブカ(Mazabuka、南部州)、カブウェ(Kabwe、中央州)、マンデヴ
(Mandevu、ルサカ州)及びチャワマ(Chawama、ルサカ州)で政治的暴力に関
する事件が散発。

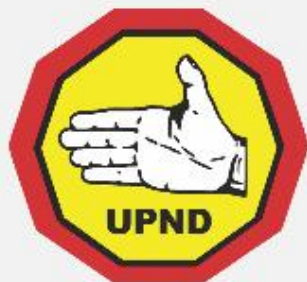
○ 死亡事案の発生

- ・ 6月29日、カプタ(Kaputa、北部州)で、**1名が殺害**された。
- ・ 同日、マゴイエ(マザブカ内、南部州)において、無所属候補者の操縦手が
政治的暴力により**殺害された可能性**。

○ その他の事案

- ・ 6月9日、選管は**マザブカ**中央選挙区において、候補者が**届出とは異なる
場所で選挙運動をしようとした際**、支持者に対して**警察が催涙ガスを用いて解
散させた**事件を受け同地区の選挙活動を一時停止。同13日、同措置は解除。
- ・ 候補者らによる選挙活動日程及び活動場所違反が複数確認された。

- 各政党、候補者による遊説・集会、行進、関係施設には**近づかない**。(傍から見ると一般的なフェスとの区別が難しい。)
- 投票所(公立学校)及び開票所に近づかない。
- 遊説・集会、行進、関係施設、投票所の**写真を撮らない**。
- **政治的な言動・議論**(特定の候補者の非難、支持)は**控える**。
(SNS等の発信含む。)
- **特定の候補者のTシャツ・帽子等を身につけている物に近づかない**。(自らも誤認されないよう注意する。)
- 最新のデモ・集会及び治安状況に関する**情報を自ら入手**する。
- 不測の事態に備え**十分な備蓄を準備**する。



選挙キャンペーンの様子及び与野党支持者らの服装(左:与党、右:野党)

4 緊急事態時における対策・処置

緊急事態時における対策・処置

<平素の準備と心構え>

日頃からご自身や家族の安全に常に注意を払われていることが、犯罪や事件に巻き込まれないための最大の防御術です。

<在留届等の提出>

在留届及びたびレジは緊急事態が発生した際、大使館との連絡確保のために極めて重要です。

住所その他届出事項に変更が生じたときは「変更届」を、日本への帰国や他国に転居する際には「帰国・転出届」を、在留届電子届出システム(ORR)を通じて必ず提出

帰国届を出さないと安否確認に多大な影響を及ぼす、ひいては在留邦人の安全確保に影響するため必ず提出してください！！

在留届・帰国届の登録願います！！

オンライン在留届（ORRネット）は、外務省が提供する在留届の電子届出システムです。
オンライン在留届を提出した方は、パスポート・証明のオンライン申請も可能です。

在留届の提出

新たに海外に滞在する方

[詳細はこちら](#)

ログイン

変更届、帰国・転出届を提出する方
パスポート・証明のオンライン申請を行う方

[詳細はこちら](#)



緊急時の連絡

○安否確認要領

当初e-mail で一斉送信をしますので、必ず家族を含めた安否確認を実施して返信

○情報の把握と共有

危険性のあるデモ・暴動等に関する情報を入手した場合、迅速に領事メール等にて皆様にお知らせします。

○身の安全の確保

- ・ 事態を冷静に把握、リスクの高い行動を避ける。
- ・ 大使館から情報提供があった場合、要すればその際の伝達事項に従って退避等を検討。
- ・ 国内外、市内等の安全な地域（知人宅、ホテル等）へ移動した後は、必ず大使館に安否を連絡。

在留届、連絡・情報収集手段の確保、情報の共有が重要

緊急事態に備えた物品

- ・ 旅券（6 か月以上の残存有効期限があるか※）

※ない場合は大使館へ速やかに再発給の申請

- ・ その他の身分証： I D、滞在許可証等

- ・ 貴重品：現金（家族全員が10 日程度生活できる外貨）、銀行カード、クレジットカード

- ・ 自動車※（整備状況は良好か、燃料は）

※自動車のない人は近くに住む自動車所有者との連絡態勢は確保されているか。

必要なときに同乗できるように相談しているか。

- ・ 懐中電灯・地図・ティッシュ等の備え

緊急事態に備えた物品

<その他携行品>

- ・衣類・着替え（華美な物は避ける）
- ・履き物
- ・洗面用具
- ・飲料水
- ・非常用食料

※しばらく自宅待機することを想定し、**家族が1週間から10日程度生活できる量を備蓄**

※上記から移動時用物品を選別できるように

<医薬品>

家庭用常備薬、外傷薬、衛生綿・包帯、絆創膏
常時服用している薬（※ある人）

<その他>

懐中電灯

必要な炊事用具（ガスコンロ等）

マッチ・ろうそく・ライター

缶切り・栓抜き

予備バッテリー（電池等）

ラジオ

参考：一時集合場所を設ける場合



大使館、大使公邸、JICA事務所を一時集合場所として想定

しつこいようですが

3ヶ月未満

3ヶ月以上

登録願います！！

（帰国したら帰国届も。。。）

質疑応答・ご意見

ザンビア滞在安全の手引き



在ザンビア日本国大使館
2026年7月改訂

